

**令和元年度定期監査結果報告書（市立小中学校  
分）に基づく改善策及び顛末**

**令和元年 1 1 月  
糸島市**

## 令和元年度定期監査結果報告書（市立小中学校分）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p><b>第4 監査の結果</b></p> <p><b>1 契約事務の執行状況</b></p> <p>教育委員会において令和元年度に締結された契約について書類審査を行った結果、一部の軽微な事項を除き、執行状況は適正に処理されていると認められた。</p> <p><b>2 実地検査の結果</b></p> <p>(1) 学校施設危険箇所調査に係る調査後の対応状況</p> <p>平成30年度に実施された学校施設危険箇所調査において、A判定箇所の全部とB判定から任意抽出した箇所を現地確認した結果、児童生徒等に被害が及ばないよう、おおむね適切に対応が行われていた。</p> <p>(2) 施設備品の管理状況</p> <p>平成30年度及び令和元年度に購入された施設備品について、備品台帳との照合及び現品の確認を行った結果、おおむね良好に管理されていた。</p> <p>購入された備品の情報は、各学校において学校備品管理システムに入力され、備品シールも対象備品に貼付されていた。</p> <p>(3) 財務事務の執行状況</p> <p>校長の口座に入金された就学援助費について、適正な財務事務が行われているかを視点を監査を行った結果、執行状況は適正に処理されていると認められた。</p> <p>(4) 鍵の管理状況</p> <p>鍵の管理は、校長及び教頭などの管理監督者によって行われており、校長室及び職員室等において保管されていた。</p> <p>管理状況については、次の2点において、不適切な運用がみられた。</p> <p>ア 鍵の保管状況について、整然と管理されていないものがあつた。</p>	<p>指摘があつた契約に係る随意契約の理由、契約保証金免除に係る条文の記載等について、修正を行った。引き続き適正処理に努める。</p> <p>引き続き適切に対応するように努める。</p> <p>引き続き適切に対応するように努める。</p> <p>就学援助費の校長口座への入金分については、今後も適正な管理に努める。</p> <p>平成28年度に各小中学校の鍵管理台帳の様式を統一化し、鍵管理台帳の番号で鍵に付番して保管していたが、一部の鍵に以前の番号が付番されていたものがあつた。指摘後、鍵の番号を修正した。</p> <p>鍵の使用については、個別の鍵の管理を適正に行い、原則マスターキーを使用しないよう令和元</p>

## 令和元年度定期監査結果報告書（市立小中学校分）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>イ 鍵の使用状況について、マスターキーが常用されているものがあった。</p> <p>（５）理科等薬品の管理状況</p> <p>理科系実験用の薬品類の管理については、「糸島市立小中学校理科等薬品管理要綱」に則って、適正に執行されているかを視点を監査を行った結果、理科主任等が管理責任者となり、管理体制が整備されていた。</p> <p>管理状況については、次の２点において、不適切な運用がみられた。</p> <p>ア 地震等に対応した薬品の転倒防止対策が、十分に行われていなかった。</p> <p>イ 事故等発生時の応急措置等の周知が、十分に行われていなかった。</p> <p>（６）機械警備による安全管理の状況</p> <p>機械警備に係る業務報告書を確認した結果、「設定遺漏（機器のセット漏れやセットミス）」、「無施錠」、「不完全閉鎖」が散見された。</p> <p>（７）学校の安全確保</p> <p>各学校において、非常変災時の行動計画及び消防計画が策定され、年度ごとの更新も行われていた。</p> <p>また、当該計画に基づき、地震・津波避難訓練や火災避難訓練等が実施されていた。</p> <p>（８）個人情報保護の状況</p> <p>児童生徒等の個人情報は、学校外への持ち出しが原則禁止され、教職員に徹底されていた。</p> <p>しかしながら、やむを得ず校長等の許可により、個人情報を学校外に持ち出されている場合があった。この際の許可手続きについては、厳格に行われていたものの、各学校における独自の手続きによるものであった。</p>	<p>年10月実施の小中学校校長会議を通して周知した。</p> <p>理科等薬品の転倒防止策については、今年度末までに仕切り等を利用し、転倒防止策を講じることとした。</p> <p>事故等発生時の応急措置等の周知については、小中学校校長会議を通して、全小中学校で10月までに周知するよう指示した。</p> <p>令和元年８月実施の小中学校校長会議において、各小中学校に対し、「設定遺漏」、「無施錠」、「不完全閉鎖」への注意を促した。学校施設開放事業に係る利用者に対しても、生涯学習課から同様の注意を促した。</p> <p>引き続き適切に対応するように努める。</p> <p>個人情報の管理については、各学校の個人情報の取扱状況の調査を、令和元年９月に実施した。調査結果は、学校教育課で取りまとめを行い、令和元年度中に全校統一した基準を策定し、全小中学校へ周知する。</p>

## 令和元年度定期監査結果報告書（市立小中学校分）に基づく改善策及び顛末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>(9) その他庶務関係</p> <p>私有車両の公用使用承認簿、水質検査関係書類等の各種庶務台帳類を監査した結果、一部の軽微な事項を除き、執行状況は適正に処理されていると認められた。</p> <p>郵券管理については、適正に執行されており、監査当日現在の残券数と一致した。</p> <p>3 まとめ</p> <p>監査の実施にあたっては、事前に関係書類を提出していただき、検証を実施した結果、学校現場での円滑な監査を執行することができた。</p> <p>危険箇所の対応については、教育委員会との連携に改善を図り、円滑に実施されており、今後も計画的に措置していただきたい。</p> <p>鍵の管理については、より一層の適正な運用を行っていただきたい。</p> <p>理科等薬品の管理については、特に事故等に対する応急措置の周知徹底と消火器の適切な配備箇所を検討していただきたい。</p> <p>機械警備による安全管理については、「設定遺漏」の場合、不審者が学校内に侵入しても発報されず、全く無防備な状態となるため、極めて危険である。今後は十分な注意を払い、不備のない防犯体制を整え、学校の安全確立に努めていただきたい。</p> <p>非常変災時の対応については、各学校とも行動計画等を策定し、これに基づき訓練等が実施されている。今後も、避難訓練等を定期的を実施し、非常変災に備えていただきたい。</p> <p>個人情報保護の状況については、管理方法が各学校に委ねられている実情にある。個人情報の漏えいは、児童生徒等に大きな被害を及ぼすおそれがあり、個人情報の管理については、教育委員会において、統一した基準の整備が必要であると考えられる。</p> <p>なお、個々の軽微な事務処理指摘事項については、別途教育委員会へ通知した。</p> <p>最後に、コミュニティスクールについて、学校</p>	<p>指摘があった件については、適正な事務となるよう修正等を行った。引き続き適正処理に努める。</p> <p>今回の指摘事項については、全小中学校と共有し、適正な管理及び改善に努める。</p> <p>コミュニティスクールについては、平成29年度から全小中学校に設置し、成熟期に差し掛かっている。今後も継続して取り組んでいく。</p>

令和元年度定期監査結果報告書（市立小中学校分）に基づく改善策及び願末

指摘事項及び意見等	主管課における措置、処理の経過及び対応策
<p>と家庭、地域が協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」が、各学校区の特色を生かして実践、推進されていることが認められ、評価できた。今後も継続的な取り組みをお願いする。</p> <p>以上のとおり、令和元年度定期監査結果について記述したが、それぞれの指摘事項を念頭におかれ、今後とも安全かつ円滑な学校運営に努められるよう望むものである。</p>	